

呉工業高等専門学校	開講年度	令和06年度(2024年度)	授業科目	英語Ⅱ
科目基礎情報				
科目番号	0008	科目区分	一般 / 選択必修	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	電気情報工学科	対象学年	1	
開設期	後期	週時間数	2	
教科書/教材	Power On English Communication I (東京書籍) Power On English Communication WORKBOOK I (東京書籍) MEW Exercise Book Days 1200 (いいいざな書店) *Listening Scope Basic (いいいざな書店) *Active Reader Intermediate (いいいざな書店) *授業中にプリントで配付します。			
担当教員	大森 誠			
到達目標				
1. 教科書の新出語句や重要語句を覚え、使うことができる 2. 教科書の文法を理解し、使うことができる 3. 本文の内容を理解し、英語で自分の意見を言うことができる 4. 副教材の内容を理解し、応用できる				
ルーブリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1	教科書の新出語句や重要語句を覚え、適切に使うことができる	教科書の新出語句や重要語句を覚え、使うことができる	教科書の新出語句や重要語句を覚え、使うことができない	
評価項目2	教科書の文法を理解し、適切に使うことができる	教科書の文法を理解し、使うことができる	教科書の文法を理解し、使うことができない	
評価項目3	本文の内容を理解し、英語で適切に自分の意見を言うことができる	本文の内容を理解し、英語で自分の意見を言うことができる	本文の内容を理解し、英語で自分の意見を言うことができない	
評価項目4	副教材の内容を理解し、応用することができる	副教材の内容を理解し、概ね応用することができる	副教材の内容を十分に理解できていなく、応用することができない	
学科の到達目標項目との関係				
学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HA)				
教育方法等				
概要	言語運用の4技能（読む・書く・聞く・話す）を向上させる。テキストの音読と精読を通して、読解力の育成をはかるとともに、テキストに取り上げられている内容に関連した語彙や表現を身に付けることを目的とする。			
授業の進め方・方法	授業では、演習を基本とする。 毎回の授業で単語テスト（小テスト）を実施する。 速読と聴解に特化した活動を行う。 毎回の宿題に音読を課す。			
注意点	教科書や副教材だけでなく、辞書も必ず持参して活用すること。毎回必ず予習をして授業に臨むこと。 授業内での活動に積極的に参加すること。 配付プリントが多いので、各自ファイルを用意すること。			
授業の属性・履修上の区分				
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用	<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	夏休み明け課題テスト リスニング演習、速読演習	
		2週	Lesson 6-1 単語テスト、リスニング演習、速読演習	
		3週	Lesson 6-2 単語テスト、リスニング演習、速読演習	
		4週	Lesson 6-3 単語テスト、リスニング演習、速読演習	
		5週	Lesson 7-1 単語テスト、リスニング演習、速読演習	
		6週	Lesson 7-2 単語テスト、リスニング演習、速読演習	
		7週	Lesson 7-3 単語テスト、リスニング演習、速読演習	
		8週	中間試験	
後期	4thQ	9週	答案返却・解説 Lesson 9-1 単語テスト、リスニング演習、速読演習	
		10週	Lesson 9-2 単語テスト、リスニング演習、速読演習	
		11週	Lesson 9-3 単語テスト、リスニング演習、速読演習	
		12週	Lesson 10-1 単語テスト、リスニング演習、速読演習	
		13週	Lesson 10-2 単語テスト、リスニング演習、速読演習	
		14週	Lesson 10-3 単語テスト、リスニング演習、速読演習	
		15週	期末試験	

		16週	答案返却・解説 夏休み課題の説明	
--	--	-----	---------------------	--

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文社会科学	英語	聞き手に正しく伝わるよう、語・句・文における強勢、文におけるリズム・インтонацион、音のつながり・区切りを意識しながら明瞭に音読あるいは発話できる。	3	
			中学校までに学習した語彙の定着を図り、高等学校指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる語彙を習得して適切に運用できる。	3	
			中学校までに学習した文構造及び文法事項に加え、高等学校学習指導要領に準じた文構造及び文法事項について習得して適切に運用できる。	3	
			日常的な話題や社会的な話題について、はっきりとした発音で、調整された速さで話された内容から、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握できる。	2	
			日常的な話題や社会的な話題について、基本的な表現を用いて、情報や考え方、気持ちなどを話すことができる。	1	
			日常的な話題や社会的な話題について平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握して必要な情報を読み取り、書き手の意図、概要や要点を把握できる。	1	
			日常的な話題や社会的な話題について、自分の意見や感想を整理し、情報や考え方、気持ちなどを伝える文章を書くことができる。	1	

評価割合

	定期試験	小テスト	提出物	受講態度	合計
総合評価割合	60	20	10	10	100
基礎的能力	60	20	10	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0